

## 建物修復に 力をいれろ！

順二 建物修復支援ネットワーク代表住まい空間研究所。東日本大震災で東北地

新潟県中越地震で全壊判定を受けた50坪の家は、246万円で修復された。また、地震とその後豪雪により壊滅的被害に遭い、一旦は集団移転を決めた集落が、倒壊した神社の修復をきっかけに地域共同体の記憶が甦り、地区半数以上の世帯が戻ったのである長谷川



1 2 3 4  
愛農学園農業高校を  
減築と省エネ改修  
\*1④は改修前  
2③は改修後

改修後

●志村公夫 | 京町屋を「文化遺産」にするには、建物の正しい理解から ●鯉坂徹 | 土蔵を修復して、村々の景観と食文化を守り伝える ●長谷川順一 | 震災被災地で繰り返される建物の大量廃棄を今こそ見直せ ●山本亜耕 | 断熱・気密・熱環境に配慮した建物フォームはなぜ必要か ●野沢正光 | 築46年のRC造校舎を新築仕様の耐震、快適に再生



改修後



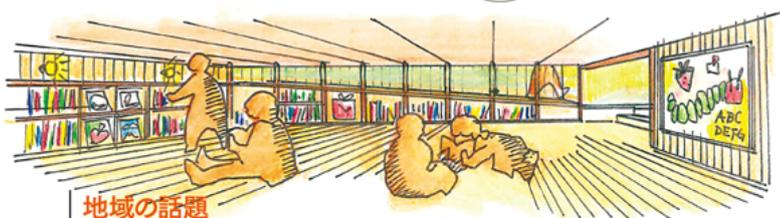
改修前

方の神社仏閣だけでなく、多数の民家と土蔵が被災し、修理できずに朽ちようとしている。土蔵をつくるには2、3年以上の時間がかかる。伝統的な建築が少しでも後世に引き継がれていかないと、東北の原風景が失われてしまう(鯉坂徹 | 日本建築家協会再生部会長)。

〈新連載〉

## 都市計画は誰のためにあるか

地方都市の衰退と「近代都市計画」の功罪  
—— 中野恒明



地域の話

岩井地区幼保一体化  
プロポーザル最優秀賞に  
長塚建築設計事務所

菊竹清訓氏  
偉大な建築設計の  
追悼

仙田満  
教師

各地域に拠点を置く設計事務所の  
作品集  
建築集